

とちぎ散歩

Mini

市内各地の名所・旧跡を
写真で紹介しします。

栃木市を元気にするFMくらら
85.7MHzで毎日放送中 <https://fmkulala857.jp>



愛宕神社と宇都宮領境界標

西方町金崎にある愛宕神社は、慶弔12年(1607年)に、西方城主であった藤田能登守の命により建立されました。同じ敷地内には、愛宕神社の雨よけを建造する際に移設された、宇都宮領の境界を示す標識もあります。愛宕神社と宇都宮領境界標は共に市の文化財に指定されています。



▲当初は東武金崎駅前にあった宇都宮領境界標



▲地域の人々により守られている愛宕神社

観音堂

この観音堂は、現在のつがの里の敷地内にあったとされる華厳寺が廃仏毀釈で廃寺となった際に、木の北地区住民の手で同地区に移築されました。大師堂と名を変えて手厚く保存されていました。そして平成12年(2000年)に再び観音堂としてつがの里の敷地内に再移築されました。
▲詳しい由来が記載された看板



▲つがの里の敷地内に再移築された観音堂



▲小野寺城跡石碑

小野寺城は1156年(保元元年)に義寛が初めて築き、義寛は小野寺の姓を名乗るようになりました。その後、子の道綱が父の後を継いで領主となり、小野寺禪師太郎道綱と名乗りしました。道綱は源頼朝の信頼厚く、鎌倉幕府の要職を歴任しました。現在は岩舟町小野寺に小野寺城跡の石碑と小野寺禪師太郎道綱の墓が残っています。また、全国各地に広がる「小野寺氏」の発祥地として伝わっています。



▲小野寺禪師太郎道綱の墓

三義神社と万葉歌碑

三義神社と万葉歌碑は栃木県営都市公園みかも山公園南口付近にあります。「しもつけぬ みかものやまの こならのす まくはしころは たかかかもたむ」(万葉集)巻14東歌)万葉の時代に詠まれた歌で、意味については様々な説がありますが、一般的には「下野のみかも山に生えている小櫓の木のようなかわいい子はいったい誰の妻になるのだろう。」と解釈されています。



▲石階段を登った先にある三義神社の奥宮

▲万葉歌碑は麓の神社入口にあります

錦着山

箱森町にある錦着山は標高80mの小さな山です。巾着の形に似ている、また、春から初夏にかけてのつつじが満開の頃は錦を着ているように美しいことから、その名が付けられたといわれています。徒歩5分ほどで登れる山頂には錦着山公園があり、北側に日光の男体山、南に関東平野、西には太平山を望む見晴らしの良い景勝地となっています。



▲錦着山のシンボルの時計台



▼山内の小径に満開のツツジ

大中寺は久寿元年(西暦1154年)に開創された歴史ある寺です



▲多くの登山者が四季を通じて訪れています



秋には鮮やかな紅葉を楽しみながら

大中寺から謙信平へ
七不思議で知られる大中寺は、上杉謙信の叔父である快良が第六世住職を務めた由緒ある寺です。上杉謙信と北条氏康が大中寺で講和を結んだという史実もあります。現在でも、大中寺から、やや険しいハイキングコースをたどり、謙信平まで歩くことができます。

いま空き家・空き地の相談が増えています

大切な不動産が「負の資産」になる前に

空き家を放置するとこんな危険が!

※水害にあった物件もご相談ください

- 不審者が侵入したりゴミの違法投棄をされたり
- 壊れた窓ガラスが落ちて通行者に怪我をさせたり
- 放置された庭木に害虫が発生する原因になったり
- 建物の傷みから倒壊の危険性もあります

- 子供の負担が大きくなるのでは...
- この年齢だと除草などの管理が苦痛になって...
- 毎年の固定資産税を払うのが大変で...
- ゴミの不法投棄が心配で...
- 近隣に迷惑をかけているのでは...

土地に関するお悩みありませんか?